



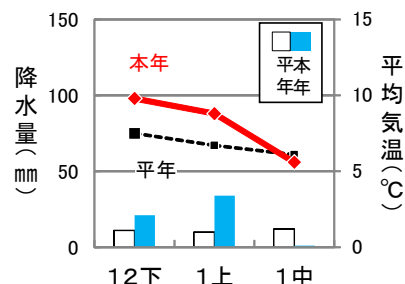
農作業一口メモ

(平成29年2月号)

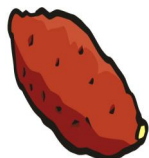
鳴門藍住農業支援センター
鳴門藍住地区農業生活指導班会

気象 <四国地方1ヵ月予報(1月28日~2月27日)>

期間のはじめは、気温がかなり高くなる見込みです。平年と同様に晴れの日が多いでしょう。向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、平年並の確率50%です。3~4週目は、平年並または低い確率ともに40%です。
(平成29年1月26日高松地方气象台発表より抜粋)



かんしょ<2月の管理について>



育苗

○気温が低いと苗の活着や生育が遅れ、つるが伸びにくくなります。地温が上がりやすいように早めにトンネルをかけ、必要に応じて電熱線やポイラーを利用してください。床温は20℃~25℃が目安です。

本ぼ (作付け準備)

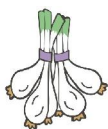
- 土壌pHがやや低い(6程度)ほ場が見受けられます。土壌診断を参考に苦土石灰等を施用して矯正(最適pHは6.5)してください。
- D-Dの処理が遅い場合、芋の形状に影響が出る場合もあります。また、クロルピクリンの危被害がおこらないようクロルピクリン処理を早めに行う必要がありますので、D-Dの未処理ほ場は、早急に処理を行ってください。

だいこん <2月の管理について>



- 今年も生育が早く、すでに収穫が終わっているほ場が多いと思います。収穫が適期を過ぎそうな場合は、割れによる傷口から病気が侵入することがありますので、使用日数に注意して早めに防除を行ってください。

らっきょう<2月の管理>



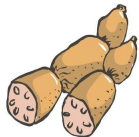
- 冬季の乾燥は収量・品質に大きく影響するので、土壌の水分状態をみながら、暖かい日の午前中に適宜畝間かん水を行いましょう。
- 寒害等により傷から病原菌が侵入し春腐病や葉枯病が発生するので、この時期から防除を開始しまししょう。

にんじん <栽培管理について>



- 土寄せ時期以降はトンネル内の最高温度が28℃以上にならないように、外気温が上昇するにしたがって換気孔を増やしまししょう。(目安は23~25℃)
- 菌核病は低温多湿条件で発病が多くなります。斑点細菌病は、換気が遅れ温湿度が急上昇した場合に蔓延しやすいので、適期換気に努めるとともに薬剤による予防を行いまししょう。

れんこんく土壤分析をいしましょう



- 収穫の終わったほ場から土壤分析を行い、土壤中に肥料がどの位残っているか把握し、効率的な施肥に努めましょう。
- 石灰の施用量が多い傾向にありますので、土壤の石灰濃度とpHに注意しましょう。

ブロッコリーく2月の管理について



- 寒い時期は肥料の吸収が少なくなります。遅れないように適切に追肥を行い、葉が黄色くならないように管理してください。
- 気温の上昇とともに、病気虫の発生がみられるようになります。観察を十分に行い、発生初期に防除しましょう。
- 春ブロッコリー（5～6月上旬収穫）の定植適期は2月下旬以降です。低温下の早期定植は、ボトニング（早期出蕾）の発生要因になりますので注意しましょう。また、収穫期間が短いので、栽培面積は一作5～10a程度としましょう！

いちご く「さちのか」の管理



- 草丈は25cm程度を目安とします。低温や成り疲れ等による草丈低下を抑制するため、電照時間や温度管理、追肥等で草勢を調整しましょう。
- ハウス内が過湿になると、灰色かび病、菌核病が発生しやすくなります。換気、加温管理による湿度抑制、枯れ葉等の早期除去、予防的な薬剤散布など行いましょう。

レタス く適期収穫について



- 適宜かん水
冬場乾燥すると小玉のまま固くなるので、次の日に水が畦間に溜まらない程度を目安に適宜かん水を行いましょう。
- トンネル内の温度管理
気温の変動が大きい時期なので温度管理に注意しましょう。結球開始までは最高気温25℃以下で、結球期には20℃以下で管理しましょう。

にんにく く2月の管理について



- 冬季の乾燥は収量・品質に大きく影響するので、土壤の水分状態をみながら、暖かい日の午前中に適宜畝間かん水を行いましょう。
- 寒害等による傷から病原菌が侵入し春腐病や葉枯病が発生するので、この時期から防除を開始しましょう。
- 雑草の発生状況をみながら、除草剤を散布しましょう。

なのはな く2月の管理について



- 追肥は2週間ごとにNK808、または硫安などを10アールあたり15～20kgを施します。（窒素成分では1回あたり5kg以内）
- 乾燥が続くと肥効が悪くなるので、適宜かん水を行いましょう。
- 出荷後に花が咲かないよう適期に収穫しましょう。

鳴門藍住農業支援センターのホームページでも掲載しています。

http://www.pref.tokushima.jp/shien/naruto_aizumi/

※提案・お問い合わせについては、鳴門藍住農業支援センターまで

電話番号：088-692-2515